

放送日 平成31年3月1日(金)

担当者 予防課 吉田 幸之助

おはようございます。消防本部予防課の吉田です。

平成30年度も残すところあと1か月となり、年度内に終わらせなければならない業務、新年度の準備などでどの部署も忙しくなると思います。節目の前後、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期となりますので気を付けて業務していきましょう。

さて、私の業務は新しく建物が建つときの火災予防上の問題がないかを確認すること、消火器などの消防用設備等が適正に設置されるかの審査及び検査をすること、市民の防火意識を高めること、そして火災が起きた時の原因を調査することです。

消防職と聞くと真っ先に思い浮かべるのは火災の消火活動や救助活動などの現場活動だと思います。しかし、私が今行っている業務は、火災が起きてからの業務ではなく、起きないようにすること、起きても被害が小さく済むようにすることです。事務仕事がメインで地味な業務ではありますが、消防職ができる「1番最初の消火活動・救助活動」だと思っています。

これから北広島市は、ボールパーク決定に伴い様々な建物の建築がなされ、たくさんの方が行き来し、また、市内各所で飲食店の増加やアパートの建設など発展をしていくことと思います。人が増え、建物が増えると当然火災の危険性が高まります。より一層気持ちを引き締め、安全で安心できる北広島を目指して業務に取り組んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月4日(月)

担当者 警防課 福島 宏幸

おはようございます。消防本部警防課の福島宏幸です。

平成23年の東日本大震災からまもなく8年が経過しようとしています。その年の流行語は「絆」や「3.11」「帰宅難民」「風評被害」が選ばれました。その時の不安な状況が忘れかけた昨年の胆振東部地震での「ブラックアウト」。先月の26日には政府の地震調査委員会による地震の発生確率を見直した結果、今後30年以内の発生率が高くなっている結果となっています。北海道東部の千島海溝による地震は前回の発生から400年が経過し、切迫している可能性が非常に高いことが報道されています。近年の自然災害は予測不能で「想定外」な事象が多発しています。昨年の地震後は、皆さんは、3日分の食料を確保していると思います。何も起こらない日常のなか忘れかけたその時に様々な困難が起こります。その時に自分自身でできることは限られます。行政として困難に立ち向かうために必要なのは「チームワーク」「コミュニケーション」です。災害発生時は、「状況確認」「目標策定」「対応策」「情報共有」「対策状況」を全員が共有しなければ、更なる困難が起きる可能性が高まり、被害が拡大する。被害を最小限に抑えるためには日頃の職員間において、認知・尊重する姿勢を構築し、お互いの意思疎通をしていかなければ、緊急時は対応できません。私達は、組織としての共同体であることを確認し、一人の力は小さくても全員で取組めば大きな力となります。自然災害は、防ぐことは困難でも、減災することは可能です。日々業務の中で「顔の見える関係作り」を構築し、北広島市は災害にも強く、住みやすい街にしていきましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月5日(火)

担当者 消防2課 國司 善幸

おはようございます。「消防2課 國司善幸」そう名前を呼ばれ、辞令を交付されてから間もなく1年が経過します。時の流れの速さを実感し、約1か月後には新たな職員が採用される予定から教育的な立場となる責任を感じるとともに、今後も業務を通じ多くのことを学び、吸収し勤務していきたいです。

私は職員として大切にしていることがあります。それは、人と接する際の表情です。数分間の短い会話場面でさえ、人は何種類もの表情によって様々な感情を表現し、コミュニケーションの中に表情は絶えず変化するとされています。表情の変化によって相手に対し安心感を与えることも不安や不快な思いをさせてしまうこともあります。

消防職員は災害現場、消防訓練、救命講習など初対面の人と関わることが多い仕事です。人の第一印象は見た目ですと9割決まると言われる中、対応にあたる際不安そうな表情やしなめ面など否定表情をしていけば相手に不快な思いをさせてしまうのは当然のことです。

市民ファーストで迅速性が求められる業務であるため、爽やかな笑顔、相手に不安を与えない表情をし、市民の方々に頼っていただけるよう心がけています。

さて、本日3月5日は、日本で初めてスチュワーデスの採用試験が行われたことから、スチュワーデスの日と言われているそうです。飛行機に搭乗した際、あの人たちの素敵な表情に心を癒されたことはないでしょうか。私もあの方々の表情を目指し日々業務に取り組んでいきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月6日(水)

担当者 消防1課 三木 達矢

おはようございます。消防1課の三木達矢です。

このスピーチでは4月から約半年間入校していた消防学校についての話と、これからの消防人としての目標についてお話していきたいと思います。

私は4月の新人職員研修の一週間を経て、右も左も分からないまま、北海道消防学校に入校しました。消防の知識がまったくない私でしたが、消防学校での様々なカリキュラムのもと、教官の厳しい指導の中で仲間と共に切磋琢磨しながら充実した日々を過ごし、たくさんのことを学ぶことができました。私が特に学んだことは集団行動の大切さです。班で寝食を共にし、また一緒に訓練や授業を行い、班の班長として様々な経験をしました。集団で行動することの長所として、1人だけでは対処できない活動が可能となったり、1人の失敗を全員でカバーできたりします。しかし、時にはその1人のミスが周りの連携を崩してしまうことも経験しました。このように集団行動の大切さを再認識した学校生活でした。

次にこれからの消防人としての目標についてお話をします。まず現在の状況は消防学校を卒業し、北広島市消防職員に戻ってかなり戸惑ったことを思い出します。なぜなら消防学校で教わっていないことのほうがはるかに多いからです。例えば、資機材の取り扱いやロープを使った結索など北広島市独自のやり方が多くとても大変です。しかし、良きサポーターや先輩職員のおかげで失敗を重ねながらではありますが少しずつ成長していると感じております。まだまだ消防職員になってから1年も経たない私ですが、市民の生命及び財産を守るために日々精進していくつもりです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月7日(木)

担当者 救急指令課 竹本 充志

おはようございます。消防署救急指令課の竹本です。

本日、3月7日は「消防記念日」です。71年前のこの日に消防組織は、警察組織から独立しました。私は、その約60年後の平成21年に拝命を受け、来年度で勤続10年となります。

そこで、私が担当する「救急」の現状についてお話したいと思います。

北広島市内の昨年1年間の救急出動件数は、2,245件で、82件増加し、1日平均約6件の割合で救急車が出動しています。119番受報から搬送先の病院に到着するまでの平均所要時間は45分です。全国平均と比較すると、約6分延伸しています。その理由の1つとして、夜間搬送できる市内医療機関は、1箇所しかないため、市外への搬送が約9割を占めているからです。

出動件数は年々増加していますが、昭和54年から40年間変わらず2台の救急車に対応しています。その2台が救急出動中であった場合は要請があってもすぐに出動することができないため、救急車の現場到着時間が遅くなってしまうのが現状です。

また、ボールパーク完成に伴い、更なる出動件数の増加や災害の大規模化等が予測されます。このような厳しい状況の中でも、救える命を救うのはもちろんであり、市民や当市に足を運んでくれた方にとって最良な活動を提供しなければなりません。そのためにも個々のスキル向上や組織力向上に尽力し、災害に備える所存です。

以上、今回は「救急」の現状について簡単ですがお話させていただきました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月8日(金)
担当者 消防署大曲出張所 氏家 博和

おはようございます。消防署大曲出張所の氏家博和です。

私が広島町の時に採用されたから早いもので40年が経とうとしています。

採用当時は、総合体育館、文化ホール・エルフィンパークなど無く、市の施設としては中央公民館がありました。市役所の前にもまだ木材会社が立っていました。

それから、火災や事故などのほか、水害や台風、地震などの大きな災害を体験し、何とか私なりに活動して来たつもりです。その中でも、やはり水害で東部地区の中央にある店舗周辺が水没し、職場に1週間近く詰めていたことが、一番印象に残っています。この水害を体験した職員も私も含めてあと数年で居なくなります。災害は忘れた頃やってきます、日頃から災害対応について考えて頂けたらと思います。

そんな災害等で私がやって来られたのは、良き先輩や後輩に恵まれたからだと思っています。私たち消防は、火災・救助・救急など必ずチームで活動し、災害に対応しています。チームで活動しているからこそ、良い結果が出るとと思っています。

これからボールパーク開設など何かと忙しくなり、限りある人員で頑張っていかなければ成らないと思いますが、こんな時だからこそ、職員の皆さんもチーム・仲間を大事し助け合って仕事に励んで頂きたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月11日（月）
担当者 消防署西の里出張所 間 正実

おはようございます。消防署西の里出張所で消防担当をしている間です。

みなさんが消防担当から想像する業務は「火災に伴う消火活動」だと思います。実際には消火活動は勿論のこと消火栓等の維持管理業務、火災予防普及啓発、消防訓練の実施など多岐にわたります。本日はこの時期の消火栓等の維持管理業務中に感じたことをみなさんにお伝えしたいと思います。この時期、みなさんは家の除雪作業に大変ご苦労されていることと思いますが、私たちもいつでも消火栓等が使用出来るように除雪を実施しています。消火栓等は北広島市全体で約600基設置されていて住宅地等に点在し設置されていることから、住宅地を消防車で巡回しています。そのため、各戸の除雪状況が目に入ってきます。昨年、北海道胆振東部地震という未曾有の災害を経て高まる防災意識をお持ちであると思いますが、冬季に地震などの災害が起こると、夏季とは違った対策が必要となります。今回は冬ならではの災害対策についてワンポイントお知らせします。北海道の住宅は、一般的に開口部が少なく、積雪に耐えられる構造になっているため、比較的地震に強いといわれていますが屋根に沢山の雪が積もったままですと、地震の際にその雪の重みで家が倒壊する危険性があります。また、災害時には玄関だけではなく窓も避難口となり、落雪により避難路が塞がれているような場合も考えられますので、日頃から屋根の雪下ろし、玄関や窓周辺の除雪をこまめに行い、可能な範囲で出来るだけ広く空けておきましょう。ワンポイントではありましたがご参考にしていただけたら幸いです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月12日（火）

担当者 危機管理課 前川 尚人

おはようございます。総務部危機管理課の前川です。

昨年7月に入庁し、2カ月後には北海道胆振東部地震が起こり、どうすべきかわからない日々が続き不安な毎日でしたが、少しずつ落ち着き、上司、先輩職員の方々の親切なご指導のもと、これまで日々業務に取り組んでまいりました。

今月は年度末であるため、お忙しい方が多いかと思いますが、健康的な日々を過ごされているでしょうか。私は、昨年うけた健康診断でついに悪い数値がでてしまいました。

そこで、そもそも「健康」とはどういう状態のことを指すのか調べてみました。WHO 憲章によると、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」となっています。

皆さんは健康維持のため何か取り組んでいることはあるでしょうか。私は、最近友人に誘われるがまま休みの日に運動を行い、リラックスしたいときは読書をし、心のリフレッシュもはかっています。

心身の健康のためには、自分が自身の疲労に気づいてあげること、そして、周囲の人間も異変に気付いてあげる必要があります。同僚が不健康にならないためにもお互い、毎朝挨拶したときに調子が悪そうなときは声掛けなど実践してみてもいいでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月13日（水）

担当者 保険年金課 十川 絵理子

おはようございます。保険年金課の十川絵理子です。

私の父は道北にある人口8千人の小さな町で乳牛の獣医師をしています。体重500kgもの乳牛を運ぶのは大変なので、父が酪農家を訪れて治療をします。牛はとても繊細で、些細なことにもストレスを感じ、牛乳が出なくなってしまう。たとえば、足。「足が痛くて牛乳が出ない」というと違和感がありますが、牛は足が痛い歩くのを嫌がり、えさを食べに行かなくなり、栄養不足で乳量が減ってしまいます。

往診の依頼を受けて診察した父は、蹄と皮膚の間に炎症があると診断しました。直径2㍍の太い縄を使って牛の身体を鉄柵に固定した後、蹄の奥に医療用バサミを入れて膿を出します。牛はうなり声を上げながら身体を上下に揺さぶって痛がります。出血している患部を消毒し、包帯で縫合して治療は終わりました。

牛舎の出口に向かう途中、父が酪農家に尋ねました。「あの通路の段差は以前からあった?」。その段差は牛舎の改修工事の中で数日前にできたものであり、足の化膿の原因はその段差である可能性があるとわかりました。私は、牛の身体や患部だけではなく、牛舎や既存の設備も日々観察し「診察」している、獣医師の視野の広さに驚きました。

さて、私は昨年7月に市職員になりました。日々の業務は法律や条例に基づいています。市民の方からの質問に、「こう決まっているからです」と答えることが少なくありません。年度替わりにふと、父のエピソードを思い出しました。目の前の病気だけでなく、すでにある設備や環境にも目を向ける父と同じように、すでに決まっていることに対して抱く「違和感」も大切にしなければならないと感じます。新しいことだらけだった9カ月。来年度は、新たに吸収したことを自分のなかで噛み砕き、問題点や課題までも考えられるようになりたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月14日(木)

担当者 庶務課 戸田 拓磨

おはようございます。建設部庶務課用地担当の戸田拓磨です。私は昨年7月の入庁以来、主に事業用地の取得及び補償に関する業務を担当しています。

我々用地担当は、道路や公園等施設の建設に向けて、土地等を市の所有物にするため、所有者への事業説明や適正価格による評価等を行っており、所有者の方々に事業の必要性や事業計画等を説明し、納得いただけるよう業務に取り組んでいます。

現在全国的に、人口減少・高齢化、都市への人口移動等を背景とした土地の所有意識の希薄化等により所有者不明土地の増加が問題となっています。また、相続による所有権移転登記がされないまま、相続人の関係複雑化や、相続人が増加する状況となっている上、北広島市の土地の所有者は全国に広がっているため、地権者の確定や用地交渉も容易ではない現状があります。

加えてボールパークが注目される中、我々用地担当は、用地取得に当たり、所有者一人一人の目線に立って説明していくことが最も重要であると考えています。所有者の財産に対する思いをしっかりと受け止め、事業者として責任をもって公共事業を実施する旨を丁寧に伝えていくことが所有物の売却に納得いただくための第一歩となります。所有者の方々に快く納得していただけるように、事業によって道路や施設が改良され、市民にとってより暮らしやすい町になると丁寧に説明し、円滑な用地取得がよりよいまちづくりにつながるよう、日々取り組んでいきます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月15日（金）
担当者 都市整備課 久保田 順矢

おはようございます。建設部都市整備課の久保田です。

昨年8月に入庁し、早7ヶ月が経過しました。私は主に道路整備に係る業務を担当させていただいていますが、昨年は突発的な台風及び地震により災害復旧業務も担当させていただきました。

本日は、この災害復旧業務の中から地震による道路災害についてお話ししたいと思います。

災害には台風や地震の他にも融雪等があり、国からの補助金で公共施設を直すためには各々に基準が設けられています。たとえば台風は風速、もしくは降雨量が定められています。しかし、地震だけはこの基準がなく、「社会通念上の被害」とされており、他の災害とは違い被災原因の特定が非常に難しい災害です。

通常、災害復旧は災害発生後2ヶ月以内に行われる査定後に工事発注をするのがセオリーです。しかし、それでは工事着手までに時間がかかり、市民の皆様にも多大なご迷惑をお掛けすることになります。そこで査定前に工事を行う事前着手という方法があります。この方法の最大のメリットは早期復旧ができること、デメリットは被災原因と復旧方法が妥当と判断されなければ補助金がもらえないことです。9月の地震ではこの事前着手で復旧を行ったので、先輩職員や上司の助けを得ながら関係機関及び委託業者との打合せを密にし、精度の高い申請書類の作成を心がけました。結果、申請額を満額採択してもらうことができ、微力ながら災害の早期復旧に貢献できたことをうれしく思います。この経験を今後の業務にも生かしていけるよう、日々精進して業務に励みたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月18日（月）
担当者 下水道課 中本 和樹

おはようございます。水道部下水道課の中本です。

現在私は下水道課の管理担当として、下水道管の維持管理業務を主に、工事監督業務・設計積算業務を行っています。昨年7月入庁の中途採用ですが、あたたかい課の皆様を支えられ伸び伸びと職務に励んでいます。しかし、自分自身には技術力が無いことを痛感し、恥ずかしく思うことが少なくありません。少なくとも工事受注業者や職場で、当たり前にする知識を聞き返す必要の無い常識を持ちたいです。

最近では聞かなくなりましたが、数年前はよく「ゆとり世代は常識が無い」と揶揄されてきました。常識とは何でしょう？私は大きく二種類の“常識”に注意しています。

一つ目は、価値観です。私生活で喧嘩が起きる時は、この常識を相手に押し付けている時が多いと感じます。相手が当たり前に行っている事が、なかなか出来ない事であれば逆のこともあります。なぜ出来ないのかと問い詰めないよう、どうして欲しいのか伝えるよう、聞くように注意しています。

二つ目は、知識や判断力です。一人前の技術職であることが専門的知識や応用を現場に活かせることならば、その話を聞いて理解が出来るならば常識があると言えるでしょうか？求められる知識や判断力は経験年数や立場で変化します。私は記憶力が悪く、未だに反省が尽きません。

アインシュタインの言葉で「常識とは18歳までに身に付けた偏見のコレクションである」という言葉があります。ここまでもこれから偏見は積み重なることでしょう。専門的知識はこれからでも意識して積み重ねなければなりません。常識を押し付けず常識のある人に近づけるように、日々の業務に務めたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月19日（火）
担当者 災害復興・市民参加課 池田 美穂

おはようございます。災害復興・市民参加課の池田です。

先日、男女共同参画事業の一環として、LGBTをテーマにしたセミナーを開催しました。皆さんも一度は耳にしたことがあるかと思いますが、LGBTとは性的マイノリティを表す言葉です。

民間の調査によると、LGBTは人口の約8%と言われており、この割合は左利きの人やAB型の人とほぼ同じです。左利きの人は知っていても、LGBTの人には出会ったことがないなと思った方も多いのではないのでしょうか。

実は、当事者の9割以上がカミングアウトできていないのが現状で、それは周囲の理解が不十分であることが大きな原因です。国会議員などによるLGBTへの不適切な発言がよく問題になっていますが、こういった発言も当事者への理解や配慮不足からくるものと言えます。

誰かを好きだと思う気持ちは、LGBTの人もそうじゃない人もまったく同じです。よく考えれば当たり前のことですが、私は今回のセミナーで初めて気が付きました。頭では理解しているつもりでも、心のどこかで、自分とは違うと線を引いていたのかもしれない。

LGBTに限らず、自分とは違う他者を理解することはとても難しいことですが、いつもより少し相手に関心を持つことで、新しい気付きが生まれ、今までより少し相手を思いやることができるようになるのではないかと思います。

入庁して4カ月、まだまだ自分の業務でいっぱいですが、周りに目を向け、配慮ができるよう意識していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成31年3月20日（水）
担当者 ボールパーク推進課 柳下 堅志

おはようございます。ボールパーク推進課の柳下です。

私は今年の1月から、北海道日本ハムファイターズからの出向として皆様と一緒に仕事をさせていただいています。

今日はファイターズの企業理念である **Sports Community** について紹介させていただきます。この言葉は、「スポーツと生活が近くにある社会」の実現を目指すという意味で、球団の全ての活動はこの理念に基づいて行われています。学生の頃に部活動を経験された方は特に、同じスポーツを楽しむ人同士が仲良くなることはイメージしやすいかと思いますが、スポーツの良いところはプレーする人だけではなく周りの方々も巻き込める点にあります。当社の主な事業はプロ野球の試合を興行することですが、ファイターズの試合を見に来ることでファンの方同士が友達になったり、テレビ中継を観るために家族がリビングに集まり会話が多くなったというお話を伺います。これもまさにスポーツをきっかけとして人と人が関わり合い、コミュニティが生まれるということだと思えます。

今からちょうど4年後の2023年3月、北広島市にファイターズの本拠地が移って参ります。その時に向けて施設を整備していくことはもちろんですが、市民の皆様にもボールパークを好きになっていただき、日常的にその場所を利用していただくことでコミュニティが広がるような仕掛けが必要です。例えばボールパークに設置した花壇を地元の方に整備していただき、観戦来場者に投票していただくガーデニングコンテストのようなイベントができるかもしれません。木工の得意な方にはハンドメイドの雑貨を持ち寄っていただき、フリーマーケットなど開催すれば盛り上がりそうです。市民の方々の生きがいを多く生み出すことが街の活性化に繋がるのであれば、それに向けてファイターズをどう利用するのか。ぜひ皆様のアイデアとお力をお貸しください。**Challenge with Dream**, 夢のある希望都市・交流都市・成長都市の実現に向けて一緒に進んで参りましょう！

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。